

令和7年度第1回和光市図書館協議会会議要録	
日 時	令和7年7月8日（火） 14時～15時30分
場 所	和光市役所 庁議室
出席者	(委員長) 石川 敬史
委 員	渡邊 肇 堀 尚人 柳下 和弘 長谷川 香月 荒井 恵子 小熊 尋子 関口 泰典
事務局	生涯学習課長 細野 千恵
欠 席	本館館長 中島 康洋 下新倉分館館長 小林 理恵 主査 橘高 わかな 主査 樋口 純司 主査 吉澤 実幸
	星 佳芳 新井 明日香
傍聴者	なし
事務局	<p><b>【配付資料】</b></p> <p>資料1 第3次和光市図書館サービス計画評価表（令和6年度）  資料2 和光の教育（令和7年度）※校正前  資料3 令和6年度研修実施状況  資料4 これからの和光市図書館のあり方について（答申）  資料5 令和6年度 第3次和光市図書館サービス計画評価参考資料  資料6 図書館だより</p> <p>1 議事</p> <p>(1) 第3次和光市図書館サービス計画（令和6年度）取組状況及び評価について  資料1、2、3、5</p> <p>(2) これからの和光市図書館のあり方について（答申） 資料4</p> <p>2 その他</p> <p>皆様、こんにちは。本日は大変お忙しい中、お集まりいただき、誠にありがとうございます。令和7年度第1回図書館協議会の議事に入ります前に、お手元の資料の確認をさせていただきますので、よろしくお願ひします。</p> <p>それでは、ただいまより、令和7年度第1回図書館協議会を開会いたします。はじめに館長の異動についてお知らせします。4月より下新倉分館長でありました戸田が異動となり、新たに図書館長でありました小林が下新倉分館長となりました。また新たな図書館長に中島が着任しました。</p> <p>両館長から皆様にご挨拶をさせていただきます。</p> <p>中島図書館長挨拶</p>

	<p>小林下新倉分館長挨拶</p> <p>それでは、ここからの議事につきましては石川委員長に進行をお願いいたします。</p>
石川委員長	<p>令和7年度第1回和光市図書館協議会を開催いたします。次第に沿って進めさせていただきますが、委員の皆様から忌憚のないご意見をいただければと考えております。</p> <p>本日は、委員総数10人中、出席委員8名、欠席委員2名です。</p> <p>それでは、次第1(1)の議事「第3次和光市図書館サービス計画（令和6年度）取組状況及び評価について」について、事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>資料1、資料2、資料3、資料5を利用して「第3次和光市図書館サービス計画（令和6年度）取組状況及び評価について」について説明。</p>
石川委員長	<p>ありがとうございました。資料1の施策1から施策6までを、15時20分くらいまでの時間を使って、評価をいただくということで進めさせていただきます。今後に向けてのご指摘等、なんでも結構ですので、皆様のご意見をいただければと思います。まずは、施策1につきましてご意見をいただければ。</p>
柳下委員	<p>市の文化や歴史を掘り下げていくのは、すごくいいなと思いました。講演に来ていただいたという直木賞作家の中島先生はよかった。知るきっかけとか興味を得るきっかけになっていくのかと。けれど、もっともっとやっていただく必要があるのかと思います。</p>
石川委員長	<p>郷土資料の収集も、もっともっと必要です。意見として、知っていくというところが生涯学習というところで重要になっていくと思いますので。郷土資料の収集は、まだまだ可能性を秘めていると思います。こういった地域資料は、まだまだ図書館としての関わりに可能性がある、ということです。</p> <p>先ほど中島京子先生の講演会のお話がありましたが、中島先生と参加される方との距離が非常に近くて、びっくりしてしまいました。何か、和光市の図書館の楽しかった雰囲気を、あの会場全体が示しているなということなののでしょうか。</p> <p>そうしましたら、評価コメントは先ほど柳下委員の話もありましたとおり、まだまだこれからも和光の文化をつくるという可能性を秘めているというようなことを評価させていただき、これだけの活動をされているので「適切である」というふうにさせていただきたいのですが、いかがですか。</p>
全委員	<p>異議なし。</p>
石川委員長	<p>ありがとうございます。次の施策2は、資料の収集ということですね。前回は電子書籍が収集できなかったということで「概ね適切である」ということにさせてい</p>

	<p>ただきましたが、予算要求をしてとれなかったんですね。令和6年度も電子書籍を収集できなかったということで「概ね適切」という記述になるのですが、前回と同じという。このコレクションの充実について、ストックしている資料、図書館資料に対しての指摘の項目というところ、こちらにつきまして、皆さん、何かご意見やご指摘、簡単な感想でも構いませんので、何かありましたらお願いいたします。</p>
小熊委員	<p>4ページ目の「学校見学」は「図書館見学」の間違いではないでしょうか。</p>
事務局	<p>ご指摘の通りです。すみません。</p>
小熊委員	<p>「レファレンス」という言葉の意味を知っている人が少ないように思う。私は図書館協議会委員になるまで「レファレンス」という言葉を知らなかったです。</p> <p>「レファレンス」といっても、今までどんなことを質問しているかさえもわからない。それが、わかるようにしていただけたら。今までどんなことが質問としてきているのか、こんなこと質問していいのか等と、来館した人が図書館職員に質問していいのだということがわかるような「レファレンス事例」のようなものが館内にわかりやすく掲示してあるといいのかと思います。</p>
石川委員長	<p>今までどんな質問がきたのかわからない。それをわかるようにしていただけたらいいなと思います。今まで和光市図書館が解決したレファレンスを掲示してもいいのではないかと思います。「レファレンス共同データベース」というネットにも掲載されてはいるが、小熊委員がおっしゃったように「こんなこと、聞いてしまっているのだろうか。」と思うような質問でも、館内に今まで答えてきたレファレンスの事例が掲示してあれば、来館した方が「じゃあ、私もきいてみよう。」という、背中を押される効果になるのではないかと思います。</p> <p>では、施策2につきましては「レファレンスサービスの質問事例集を作成するなどして、周知に努める」「電子書籍については、近隣では新座市と朝霞市は導入していますし、これからも予算要求をしていく」ということで、今回も評価は「概ね適切である」ということでよろしいでしょうか。</p>
全委員	<p>異議なし。</p>
石川委員長	<p>ありがとうございます。それでは施策3に移らせていただきます。施策3は「すべての人へ図書館サービスを届ける」ということで、こちらはどちらかというと図書館サービスですかね。障害者サービスもそうなのですが、高齢者サービスや多文化サービスについて先ほど事務局からご説明がありました。こちらに関しましてはいかがでしょうか。</p>

長谷川委員	<p>和光市図書館の資料の貸出期間が2週間というのは短いと思います。朝霞市は3週間ですので、和光市でも3週間にしていただけると助かります。</p>
荒井委員	<p>大体、人気のある本は20人以上の予約者が待っています。こういったことを考えると、3週間は難しいような気がするんですね。</p>
石川委員長	<p>貸出期間と冊数についてはそれぞれの図書館と伺いますか、自治体のポリシーがあると思います。貸出冊数と貸出期間については今後、ちょっと他の自治体の様子とかも少し調査していただければと思います。</p> <p>障害者サービスや高齢者サービスに対する内容ですが、整備はかなりされている。多文化サービスについては、いかがでしょうか。</p> <p>大久保図書館では38ヶ国語の絵本を所蔵しているそうです。そこは新宿の大久保という地域なので、様々な方がいらっしゃるんですね。自分の国の言語のものを自治体の図書館が揃えてくれるのって、その地域に受け入れられたように感じる、との言葉がありました。やっぱりこの言語っていうものを、自治体がそういう資料を揃えるっていうことは、地域社会の公共施設が多様な価値観を受け入れている、ということだと思うのですよね。外国語の本のリクエストはどのように行っているのですか。</p>
事務局	<p>図書館アドバイザーや学校の先生に意見を聞いたりしています。</p>
石川委員長	<p>貸出期間などは、評価コメントに表記したいと思います。多文化サービスや高齢者サービス、さらには障害をお持ちの方へのサービスの展開というのは図書館1館だけではなかなか難しく、様々な外部機関やその他の関係団体さんとの繋がりとか、やっぱり連携が必要であると思います。既にもう様々な連携、展開というものが積み重ねられ、それを活かしながらさらに今後様々な展開ができるのかなというように感じます。昨年度の評価は「適切である」といたしました。が、本年度もかなりの活動を展開されているということで、本年度も「適切である」ということにさせていただきたいのですが、いかがでしょうか。</p>
全委員	<p>異議なし。</p>
石川委員長	<p>続いて施策4です。施策4につきましては、児童サービス、YAサービスについてです。こちらは、教育委員会で策定している「子ども読書推進計画」も関わってきます。こちらは2023年度から2027年度までですけれども、委員の皆様のご意見をたくさん伺って策定したものでありますが、これを受けて事業数もかなりのボリュームになっています。職員の方の熱意が伝わってくるのですが、こちらにつきまして委員の皆様、ご指摘やご意見ご質問などがありましたらご発言をいただければと思いますがいかがでしょうか。</p>

小熊委員	団体貸出についてですが、学校によって貸出件数のばらつきがあるのはどうしてですか。
事務局	市内全校に定期的に周知はしています。それでも依頼がないのは、その学校の学校図書室の本で足りているか、学校でご判断されているからではないでしょうか。依頼されるかどうかは、各学校の判断にお任せしています。
石川委員長	学校の調べ学習等に関しては、これからはもっと図書だけでなく、デジタル資料や探し物データベースの導入、そしてそれらをスムーズに使用するためにも図書館と学校図書館の連携も必要になってくるのではないのでしょうか。 堀先生、和光国際高校でのYAサービスはどのようになっていらっしゃるのでしょうか。
堀委員	当校は修学旅行の行先がシンガポールなのですが、その時期になりますと当校の学校司書がそういう本を集めてくれます。先ほど話題に出た電子書籍も大事だと思いますが、学校司書の者が紙を大事にし、集めてくれています。YAサービスについて何かご相談、ご質問等ありましたら彼に繋がりますので、よろしく願いいたします。
石川委員長	ありがとうございます。
荒井委員	近頃「あまりにも最近の夏は暑いので、外で子どもを遊ばせたくない。」ということ、親御さんからよく伺うんですよ。まさに図書館は「親子で行ける涼しい避難場所」という場所になっていて、さらにこのような楽しそうな親子向けのイベントがたくさんあるので、これからも図書館にはぜひ頑張っていただきたいです。
石川委員長	ありがとうございました。乳幼児や児童、そして中高生向けのサービスの展開なのですが、やっぱり積み重ねてきた図書館のこういった児童サービスというところは非常に高く評価をされるべきだと考えます。このような素晴らしいサービスをやりながらも、さらなる展開も可能かと思えます。評価は前回と同じく「適切である」でよろしいでしょうか。
全委員	異議なし。
石川委員長	ありがとうございます。 次の施策5に移らせていただきます。事務局から説明がありましたが、交流の場といえますか、居場所というような居心地のよい図書館を作るにあたり、読み聞かせの会の皆さんや図書館サポーターさん、ボランティアさんとの繋がりが非常によくできていると思います。連携ということも含めまして、いかがでしょうか。施策5につきましてもご意見をいただきたいです。

関口委員	とてもよくやってくださっていると思います。
石川委員長	<p>ありがとうございます。施策1でも話しましたが、居場所としての図書館というのは、これからの図書館の在り方として、再評価されているところでもあります。</p> <p>図書館の居場所としての在り方は非常に意味のある事なんですけれども、次の施策6にも繋がっていくのですが、施設上の制約というのでしょうか、限界というものがあるので、なかなか評価しにくいところではあります。ですが、こうした制約がありながらも和光市の図書館に来館していただけるような、様々な企画や、こういった今まで積み重ねてこられましたボランティアさんや図書館サポーターさん等の人と人との繋がりを生かしながら、これからもこのネットワークを発展させていきたいわけですね。</p> <p>評価といたしましては、和光市役所や外部機関というのでしょうか。昨年度と比べると少し項目数も少なくなっているというところもありまして、更なる可能性も感じるということもありますので、「概ね適切である」とさせていただければと思うのですが委員の皆様いかがでしょうか。</p>
全委員	異議なし。
石川委員長	<p>ありがとうございます。</p> <p>それでは最後の施策6になります。ここが、なかなか難しいところなのでありますが、施設の老朽化対応というところですね。</p> <p>これとは別に、図書館職員は様々な研修会に参加されていて、かなり充実されているようですが、こちらについてはいかがでしょうか。</p> <p>この後、「これからの和光市図書館のあり方について（答申）」になるわけですが、図書館協議会がきちんと発言をしていくということで。施設の老朽化についても老朽化への対応ということで、本館トイレの改修工事もきちんとなされているわけなのですが。施策6の毎回の評価ですが、以前は評価が「不十分である」としてきましたが、施設の老朽化の問題はあるが、業務に携わる職員は一生懸命に業務に励んでいる。そのような理由から前回から「適切である」という評価をしました。現場で働いている図書館職員の皆さんは熱心に研修会に参加して勉強をしてくらっしゃるわけですし、施設の老朽化にいたっては図書館だけの責任ではない。施設の老朽化といった厳しい制約の中で、現場で働く図書館職員の皆様は様々なサービスや図書館活動を展開しているというような現状の中で、今回は「適切である」という評価にさせていただきたくと思いますが、いかがでしょうか。</p>
全委員	異議なし。
石川委員長	ありがとうございます。時間の制約もありまして、最後急ぎということになってしまったのですが、令和6年度の図書館サービス計画の評価をご審議いただきまし

	<p>た。</p> <p>そうしましたら次は、次第の議事1の(2)になります。「これからの和光市図書館のあり方について(答申)」、ご説明をお願いいたします。</p>
事務局	<p>資料4を利用して「これからの和光市図書館のあり方について(答申)」を説明</p>
石川委員長	<p>ありがとうございました。今、事務局からも話ございましたが、前回の議論を踏まえて今修正したという、こちらの方で答申をしたいと思いますがよろしいでしょうか。それでは、令和5年10月3日付け和図第60号で諮問がありました「第3次和光市図書館サービス計画(令和6年度)の取組状況及び評価について」及び「これからの和光市図書館のあり方について」ですが、「これからの和光市図書館のあり方について」の答申につきましては、このまま答申に載せ、また、本日事務局から説明がありました「第3次和光市図書館サービス計画(令和6年度)の取組状況及び評価について」の答申につきましては、本日の審議結果を踏まえて、委員長一任でよろしいでしょうか。</p>
全委員	<p>異議なし。</p>
石川委員長	<p>それでは、本日、予定されました議事が全て議了しましたので、進行を事務局の方にお返しします。</p>
事務局	<p>委員長ありがとうございました。</p> <p>次第1の「議事」が終了しましたので、次第2の「その他」に移らせていただきます。今期の委員の皆様での会議は本日が最後となりますので、生涯学習課長の細野よりご挨拶申し上げます。</p> <p>細野生涯学習課長挨拶</p> <p>委員を退かれましても、利用者さんとしてぜひ本館と分館にお越しいただき、またご意見等をいただければ幸いと存じます。</p> <p>それでは、以上をもちまして、令和7年度第1回和光市図書館協議会を終了させていただきます。</p> <p>皆さま、本日は長時間にわたり、ご議論いただきありがとうございました。</p>